

崇り (たたり)

シリーズ～さよならキリスト教～

2024/3/17

日本人は何を信じているのか？

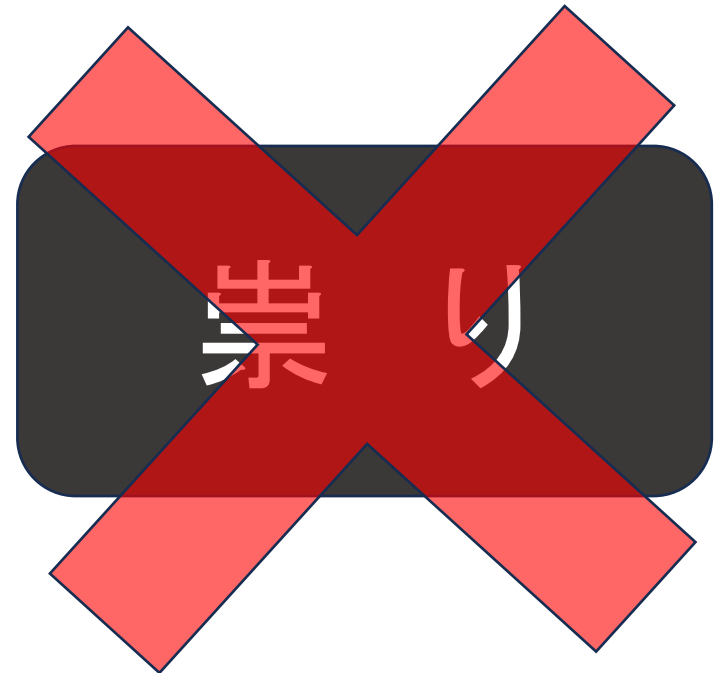
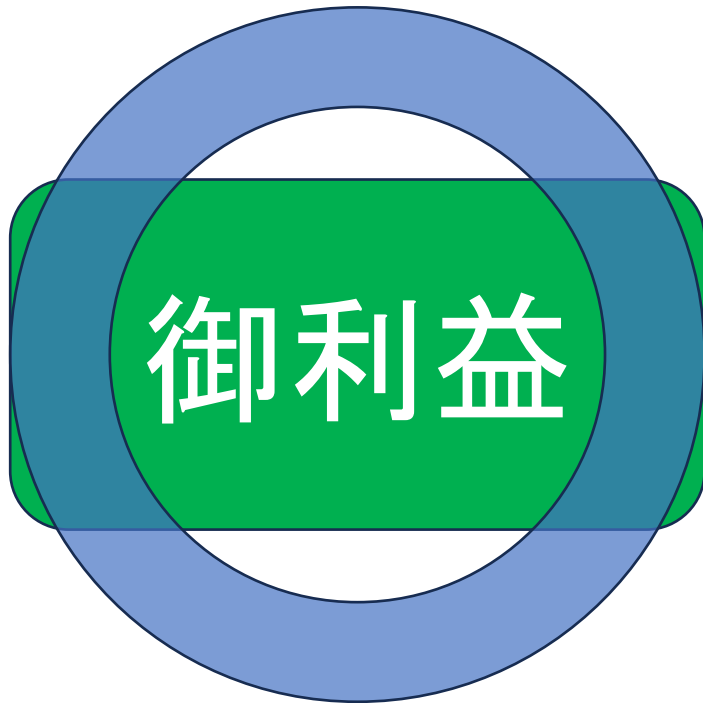
八百万の神々
(何でも良い)

御利益

崇り

日本人は何を信じているのか？

八百万の神々
(何でも良い)



「崇り」とは

崇りとは、神仏や霊魂などの超自然的存在が人間に災いを与えること、また、その時に働く力そのものをいう。人間社会の法則や論理では制御不能な出来事が起こった際に、それを強大な霊力の発現であると考えられる解釈・説明 (Wikipedia)

•「崇り」の起源

- そもそもは神がその姿を顕す事や、特定の人間に憑依(ひょうい)して託宣や予言を下すことを意味した(イタコ・ユタ)
- 「立ち有り(タツとアリの複合形)」

「崇り」の発展

• 古墳時代(仏教伝来以前)

- 現世に恨みをいただきながら死んだ者などに対しては、そのたたりを恐れて特別な葬法や供養法を用いる風習が存在した(怨霊)

• 「御霊(ごりょう)信仰」

- 死者の怨みや怒りを災禍や危害の原因とする「崇り」が意識されたのは平安前期である

• 権力闘争と「崇り」

- 政治的に非業の死を遂げることが多発し、加害者に起こった不幸を「崇り」とみなした(源氏物語)

「崇り」神の代表、菅原道真

- 学問の神として知られる菅原道真だが…
 - 実は、当時の貴族たちに恐れられた怨霊だった
- 不遇な身の上と非業の死
 - 中級貴族の出であったが、その才を買われて醍醐天皇の右大臣にまで上り詰めた
 - ライバルだった藤原時平の讒言によって九州の太宰府に左遷され、2年後に死亡した
- 道真の崇り？
 - 5年後、道真を裏切った弟子の藤原菅根が雷にあたって死去。時平も39歳で急死。時平の妹・穩子が産んだ保明親王が21歳の若さで死去など、変死が続く
 - 醍醐天皇は道真の崇りと考える

「崇り」を鎮める

• 菅原道真の祀る

- 多治比文子(たじひのあやこ)に道真の霊が乗り移り自分を祀るよう強く求める
- 朝廷は平安京内に北野天満宮を創建
- 学問の家柄だった菅原一族が管理することに
- 道真を祀る神社は1万2千社に及ぶ！

• 神に祀り挙げることで崇りを鎮める

- 「祇園」「北野」「天神」「今宮」などは「御霊神社」
 - これらの神社の祭礼は山車を繰り出し悪霊を追い払う
- 靖国神社は戦死者を「英霊」として祀って鎮める

先祖崇拜

•先祖供養

- 「祖霊信仰」は日本古来のもの
- ブツダの教えに「先祖供養」はない！
- 「崇り信仰」(御霊信仰)が仏教を変質させた

•「崇り信仰」の害

- ほとんどの新興宗教は日本人の「崇り信仰」につけ込んで、「供養」と称して金儲けをしている
- 統一教会は氷山の一角である

•「崇り信仰」の背後にあるもの

- 人間の罪と目に見えない存在への潜在的な恐れ

聖書と「崇り」

- 聖書も死後の靈魂の存在を述べている
 - 「塵は元の大地に帰り、靈は与え主である神に帰る。」コヘレト12:7
- しかし、靈魂が現世に影響を与える(良い事も悪い事も)ことに関する記述は全くない
 - 死者の靈は「眠っている」(コリントー15:18)
- 聖書は、「崇り」も「因果応報」も否定している
 - 「イエスはお答えになった。『本人が罪を犯したからでも、両親が罪を犯したからでもない。神の業がこの人に現れるためである。』」(ヨハネ9:3)

では人間の「罪」はどうなるのか？

• 創造主は人間の罪を裁かれる

- 「罪が支払う報酬は死です。」ローマ6:23
- 本来なら誰一人神の裁きを免れることはない

• 創造主は私たちの代わりに御子キリスト・イエスを裁かれた

- 「キリストは、わたしたちのために呪いとなって…」ガラテヤ3:13

• 私たちの身の回りの不幸は「祟り」でも「因果応報」でもない

- **原因を探すことに意味は無い！**

禁煙は
なさい！

神は、わたしたちを怒りに定められたのではなく、わたしたちの主イエス・キリストによる救いにあずからせるように定められたのです。

テサロニケー5章9節